

平成22年度 言語文化生涯学習講座「異文化理解を考える」

この講座も5回目を迎えます。当初は「英語生涯学習講座」として英語科の教員3名による講座を続けて参りましたが、昨年度より名称を「言語文化生涯学習講座」と改め、英語に限らず、言語と文化を広く考える講座として再スタートを切りました。今年度は新メンバーも加わり、改めて「異文化」について考えていきます。言語、地域、歴史との関わりの中から、「異文化理解」のありようを探ってみたいと思います。皆様どうぞ奮ってご参加ください。

回	日時	タイトル	講師
1	3月1日(火) 18:00~19:30	日英対照言語学を覗く	かたやま たまみ 片山 圭巳
2	3月2日(水) 18:00~19:30	台湾人の石垣島観光から考える 異文化理解の難しさ	かみづる ひさひこ 上水流 久彦
3	3月3日(木) 18:00~19:30	英語教材の変遷をたどる： 庄原英学校以降の教科書と参考書	うまもと つとむ 馬本 勉

開催日時：平成23年3月1日(火)・2日(水)・3日(木) 18:00~19:30(90分間)

会場：県立広島大学 庄原キャンパス CALL 教室(2号館5階2502講義室)

対象：英語学習経験を問わず、興味関心のある方。初心者歓迎。

定員：各回とも30名(申し込み先着順)

受講料：無料

申込方法：次の(1)~(4)を明記の上、平成23年2月28日(月)までに、はがき、ファックス、電子メールのいずれかで、県立広島大学庄原地域連携センターまでお申し込みください。

- (1) 名前(フリガナ) (2) 住所 (3) 電話番号
(4) 受講希望回(※3日間の講座のうち、ご希望の回のみ受講可)

申し込み先・問い合わせ先：〒727-0023 庄原市七塚町562 県立広島大学庄原地域連携センター
電話・FAX：0824-74-1704
電子メール：gakujutu@pu-hiroshima.ac.jp

主催：県立広島大学庄原地域連携センター / しょうばら産学官連携推進機構

◆各講座の内容◆

1) 日英対照言語学を覗く

対象言語学とは、異なった言語を比較することによって、言語を知ろうとする学問です。本講座では、日本語と英語の語彙や文法を比較することで、言語とはなにかを少し考えてみたいと思います。普段、何気なく話している自分の言語にはどのような特徴があって、どんな影響を受けているのかを一緒に考えましょう。言語の背景にあるものを知ることで、外国語学習にも新たな視点で取り組むことができるかもしれません。

2) 台湾人の石垣島観光から考える異文化理解の難しさ

現在、沖縄県の石垣市を中心とした島々には年間6万人以上の台湾人観光客が訪れています。順調に増えている陰で、ちょっとした異文化摩擦も起こっています。例えば、石垣の人々が用意した八重山そば（沖縄そば）を台湾人観光客50名が食べないという事件が起こりました。それはどうしてでしょうか。自分が考える自分の姿と、他人が考える自分の姿は意外と違うことがあります。ちょっとした誤解なのですが、その誤解はなかなか解けません。今回の講座では何をお土産に買うのか、台湾を八重山の人はどう思っているのか等、具体的な話から異文化理解について考えてみたいと思います。

3) 英語教材の変遷をたどる：庄原英学校以降の教科書と参考書

庄原英学校の置かれた明治中期の代表的な英語教科書として、ウェブスターの『スペリング・ブック』とバーンズの『ニュー・ナショナル・リーダーズ』が知られています。これらについては、その独習書である「独案内（ひとりあんない）」とともに、これまでの公開講座で取り上げて来ました。本年度の講座では、庄原英学校の時代以降に用いられた教科書や参考書などについて、実物とともに紹介します。日本の学習者が英語と格闘し、異文化理解を深めようとしてきた歴史をたどってみたいと思います。

